

基本目標	主要施策			主な取組						
	項目	2年度の成果目標	実績	資料1⑦ 成果目標 達成度	内部評価 評価 ランク	資料1⑧ 主要施策 達成度	項目	2年度の達成目標	実績	資料1④ 内部評価 評価ランク
1「強靱」な水道の構築	(1)安定給水の確保	(1)ハツ場ダム完成による水源の確保  (2)安定給水度 ①浄水場事故割合:0件(件数/箇所) ②管路の事故割合:1.6件以下(管路100kmあたり)	(1)-  (2) ①0件 ②0.8件	100%以上	a	100%	① 水源の安定化	—	—	—
							② 浄・給水場施設の更新・整備	1)薬品沈でん池築造工事の完成 2)機械脱水施設の設備工事の完成 3)二次ろ過施設建築工事の着手	1)薬品沈でん池築造工事の完成(ちば野菊の里浄水場) 2)機械脱水施設の設備工事の完成(福増浄水場) 3)二次ろ過施設建築工事の着手(柏井浄水場東側施設)	a
							③ 浄・給水場設備の更新・整備	設備の更新・整備進捗率: 72.2%(13件/18件)(5年間分累計)	72.2%(13件/18件)(5年間分累計)	a
							④ 管路の更新・整備	ア)小中口径铸铁管の更新延長:80.9km イ)大口径管の更新延長:1.5km ウ)基幹管路の整備延長:1.0km	ア)80.6km【当初予定の99.6%】  イ)1.0km【当初予定の66.7%】  ウ)1.3km	b
							<b>【評価の理由】</b> ア)、イ)について、入札不調や工程の見直しにより、工事に遅れが生じたため目標を達成できなかったが、目標に対するア)、イ)、ウ)の達成実績はア)が99.6%、イ)が66.7%、ウ)が100%以上であり、工事発注していること及び施工中の工事は進捗しているため。 <b>【今後の対応】</b> 入札不調への対策として柔軟な工期設定が可能なフレックス工期契約制度の活用や道路管理者等の関係者と綿密な調整を行う等、計画的に実施する。			

基本目標	主要施策					主な取組				
	項目	2年度の成果目標	実績	資料1㉞ 成果目標 達成度	資料1㉟ 内部評価 評価 ランク	資料1㊱ 主要施策 達成度	項目	2年度の達成目標	実績	資料1㊲ 内部評価 評価ランク
1「強靱」な水道の構築	(2)耐震化の推進	(1)浄・給水場の耐震化率(うち、ポンプ棟の耐震化率:98.3%):98.8%	(1)98.8%(98.3%)	100%以上	b	95%	① 浄・給水場施設の耐震化の推進	浄・給水場施設の耐震施設数:3施設 (菅田給水場四拓ポンプ棟耐震改修工事、船橋給水場2号配水池耐震補強工事、印旛～柏井導水管3号調圧水槽耐震補強工事(その2))	3施設	a
		(2)湾岸埋立地域における管路の耐震化率:51.5%	(2)51.5%				② 管路の耐震化の推進	ア)湾岸埋立地域での管路更新延長:29.9km イ)小中口径鋳鉄管の更新延長:80.9km ウ)大口径管の更新延長:1.5km エ)基幹管路の整備延長:1.0km	ア)23.0km【当初予定の76.9%】 イ)80.6km ウ)1.0km エ)1.3km	再掲
	(3)管路の耐震化率(耐震適合管含む):23.8%	(3)24.8%	【成果指標】 浄・給水場、湾岸埋立地域における管路及び管路の耐震化率について、いずれも目標を達成。 【評価の理由】 成果目標は達成したが、取組の評価が「a」1つ「b」1つであったため。 【今後の対応】 入札不調への対策や関係者との綿密な調整を行い、引き続き各取組を計画的に実施し、耐震化を推進していく。				【評価の理由】 施策(1)取組④と同様			
	(3)危機管理体制の充実	非常時職員参集管理システム応答率(1時間以内):98%以上	99.4%	100%以上	a	100%	①緊急時に備えた体制の充実	1)訓練の実施回数 総合訓練:6回、 テーマ型訓練:104回 支援協力員訓練:1回 2)備蓄倉庫への応急用資材の備蓄	1)訓練の実施回数 総合訓練:6回、テーマ型訓練:117回 支援協力員訓練:1回 2)備蓄倉庫への応急用資材の備蓄	a
							②給水区域内11市等関係団体との連携強化	合同訓練の実施回数:11回	12回	a
							③浄水施設の危機管理対策の強化	覆蓋化の完成 柏井浄水場(その2)	柏井浄水場(その2)工事の完成	a

基本目標	主要施策					主な取組			
	項目	2年度の成果目標	実績	内部評価		項目	2年度の達成目標	実績	内部評価
				資料1㉞ 成果目標 達成度	資料1㉟ 評価 ランク				
2「安全」な水の供給	(4)安全な水づくり	水道水における水質基準超過件数:0件	0件	100%以上	a	100%	① 水源の監視・保全 ② 高度浄水処理の拡充 ③ 水質管理レベルの維持・向上	水源調査の実施回数: 384回以上  1)ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備(高度浄水処理施設設備工事実施) 2)埋設汚泥対策の再検討(柏井浄水場西側施設)  ア)水安全計画の見直し イ)①水道GLPの認定の更新 ②水質検査機器27台の整備(更新・新規) ③水質検査計画の更新  ア)水安全計画の見直しを実施 イ)①水道GLPの認定を更新 ②水質検査機器24台を整備(更新・新規) ③水質検査計画を更新	a   b
	(5)おいしい水の供給	(1)水道水の飲み水としての満足度:80% (2)水道水のおいしさ:55%	(1)77%(実績値の誤差範囲: 75.2%~78.8%) (2)61%	80%以上 100%未満	b	85%	ア)・姉崎分場配水区域での残留塩素濃度低減化試験の実施 ・残留塩素濃度 0.4mg/L(船橋給水場配水区域) イ)送・配水管の計画洗浄延長: 1,000km ウ)①貯水槽水道の適正管理啓発実施率:100% ②直結給水率:74.0%	ア)・姉崎分場配水区域での残留塩素濃度低減化試験の実施 ・0.51mg/L(船橋給水場配水区域)  イ)1,478.2km ウ)①100%(9,179箇所/9,175箇所) ②74.7%	b
								【評価の理由】 水質検査機器の整備について、計画の27台に対して納期の遅れのため実績は24台になり達成率が89%となったため。 【今後の対応】 経年劣化等により検査精度を確保できなくなるおそれのある水質検査機器の更新等を行う。	
							【評価の理由】 残留塩素濃度(船橋給水場配水区域)については、0.51mg/Lとなったが、姉崎分場配水区域で残留塩素濃度低減化試験を実施するとともに、送・配水管の計画洗浄延長、貯水槽水道の適正管理啓発実施率及び直結給水率については目標どおり達成したため。 【今後の対応】 塩素多点注入方式の導入等、水源から蛇口まで一貫したおいしい水づくりに向けた取組を推進する。		
							1)イベント参加人数:20千人 2)水道水の安全性についての理解度:80%	1)1千人【当初予定の5%】 2)89%	a
							1)おいしい水づくり推進懇話会開催回数:3回 2)「水質検査体験」への協力者数:200人	1)3回 2)295人	a

【成果指標】  
「水道水の飲み水としての満足度」は未達成だが、「水道水のおいしさ」は目標を達成。  
 【評価の理由】  
取組の評価は「a」2つ「b」1つであったが、「水道水の飲み水としての満足度」が未達成であったため。  
 【今後の対応】  
「安全・おいしい水プロジェクト2021-2025」に基づき各種施策を実施し、引き続き、おいしい水の供給を推進していく。

基本目標	主要施策					主な取組						
	項目	2年度の成果目標	実績	資料1⑦	内部評価	資料1⑧	項目	2年度の達成目標	実績	内部評価		
				成果目標達成度	評価ランク					主要施策達成度	資料1④	評価ランク
3 お客様からの「信頼」の確保	(6)お客様サービスの推進	(1)「県水だより」満足度:90%	(1)91.1%	100%以上	a	100%	①「お客様の声」を活かした事業運営(広報・広聴の充実)	ア)お客様の要望を踏まえた県水だより及びホームページの改善	ア)お客様の要望を踏まえた県水だより及びホームページの改善(トップページに画像アイコン等を使用する等)	a		
		(2)「ホームページ」満足度:78%	(2)76.2%(実績値の誤差範囲:75.5%~79.7%)					イ)①アンケート情報収集割合:1.87件(給水人口1,000人当たり) ②業務改善数:5件以上	イ)①1.52(件/1,000人) ②6件			
		(3)お客様サービス満足度:90%以上	(3)95.0%					新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部のイベントが実施できなかったことから、達成指標イ)①「アンケート情報収集割合」を評価対象から除外しました。そのため、達成指標ア)「お客様の要望を踏まえた県水だより及びホームページの改善」及びイ)②「業務改善数」により、取組①を評価することとし、a評価としました。				
	(7)大規模事業体の責務と社会貢献	二酸化炭素排出削減量:3,100t-CO2/年以上	3,211t-CO2/年	100%以上	a	100%	② 接客マナーの向上	接客サービス推進月間において取組を実施した所属数:56所属(28所属×2回)	56所属	a		
								③ 新たな水道料金システムの開発と上下水道料金徴収一元化の実施	令和3年1月からの第二期徴収一元化実施	令和3年1月からの第二期徴収一元化実施	a	
									① 省エネルギー化の推進及び再生可能エネルギーの活用	ア)省エネルギー化設備率:85.7%(6設備/7設備)	ア)85.7%(6設備/7設備)	a
										イ)再生可能エネルギー発電設備活用による発電量:4,200kWh以上	イ)4,285kWh	
② 資源リサイクルの推進	ア)浄水発生土の再資源化率:100%	ア)100%	a									
	イ)再利用可能な建設発生土の再資源化率:100%	イ)100%										
③ 県内水道の統合・広域化に向けた検討	ウ)建設副産物の再資源化率:100%	ウ)100%	-									
	検討の推進	検討の推進										
④ 国際貢献及び他事業体への支援	1)海外水道事業体への技術支援:積極的な技術支援の実施	1)積極的な技術支援の実施	a									
	2)県内水道事業体へ開放する研修講座数:4講座	2)4講座										

基本目標	主要施策			主な取組						
	項目	2年度の成果目標	実績	資料1㉗ 成果目標 達成度	内部評価 資料1㉘ 評価 ランク	資料1㉙ 主要施策 達成度	項目	2年度の達成目標	実績	内部評価 資料1㉚ 評価ランク
運営基盤の強化 (人材・業務能率・経営)	基本目標1～3に位置づけた7つの主要施策の達成度:95%以上	97.1%	資料1㉕	a	a	a	①実践的な技術研修の実施	1)希望研修の受講率:80%以上 2)専門技術研修受講者数:50名	1)90% 2)26名	a
							新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部の研修が実施できなかったことから、達成指標2)「専門技術研修受講者数」を評価対象から除外しました。そのため、達成指標1)「希望研修の受講率」により、取組①を評価することとし、a評価としました。			
							②職員の育成と能力開発	局独自の研修の継続、より質の高い効果的な研修を目指した定期的な見直しの実施	局独自の研修の一部実施、研修実施方法の検討の実施	a
							達成指標「人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善」のうち、「研修の実施」については評価対象から除外し、「人材育成等を目的とした局独自の研修の改善」により取組②を評価することとし、a評価としました。			
							③計画的な人材確保	積極的な職員採用と知事部局等との人事交流の実施	積極的な職員採用と知事部局等との人事交流の実施	a
							④民間活力の活用による事業の推進	施工管理業務委託の実施件数:20本	21本	a
							⑤情報化の推進	1)情報システム等の整備件数:0件 2)情報セキュリティ研修等受講者数:150人 3)コンピューターウイルス感染及び情報漏洩件数:0件	1)0件(適切な維持管理と保守を行った) 2)214人 3)0件	a
⑥品質確保に留意したコスト削減	ア)ライフサイクルコストの低減化 イ)経常費用の圧縮	ア)ライフサイクルコストの低減化(管路の更新における長寿命管の使用、水道施設に設置したマイクロ水力発電設備及び太陽光発電設備の安定的な運用等) イ)経常費用の圧縮(事務用品等の一括調達)	a							
⑦健全経営の確保	1)経常収支比率:100%以上 2)自己資本構成比率:76.8%以上	1)112.0% 2)78.9%	a							
<p>【計画全体の事業の進捗状況】 a評価:5施策、b評価:2施策 【計画の事業費ベースの執行率】 執行率:約91% 最終予算:約588億円 執行額:約536億円 (令和2年度への繰越額:約94億円)</p>										
<p>【水道事業全体の経営状況】 (↗:良化、→:横ばい、↘:悪化) 経常収支比率:112.0%→ 自己資本構成比率:78.9%↘ 給水収益に対する企業債残高の割合:231.9%↘ 流動比率:150.5%↘ 有収率:96.9%↗ 法定耐用年数超過管路率:25.7%↘</p> <p>【評価の理由】 事業は予定していた成果を挙げたことと併せて、経営の健全性・効率性が維持されているため。</p> <p>【今後の対応】 経営の健全性・効率性を確保しつつ、計画的な事業の推進により、基本理念の実現を目指す。</p>										

下線 :5か年の目標を達成しなかった指標